

2025年7月17日

中国地域の経済動向

(2025年5月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は横ばい傾向、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前年同月比で減少など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向・・・横ばい傾向

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・緩やかな持ち直しの動きがみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前年同月比で減少

4. 景況感・・・現状、先行きともに前月に比べ上昇

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で減少

6. 建設動向・・・公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少

7. 企業倒産・・・件数、負債総額とも前年同月比で減少

8. 設備投資・・・2025年度計画は前年度を上回る見込み

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

(本発表資料のお問合せ先)
総務企画部企画調査課長 中野 伸二
電話: 082-224-5633
メール: bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

1. 生産動向 ～横ばい傾向～

(中国地域鉱工業生産動向 2025年5月 速報)

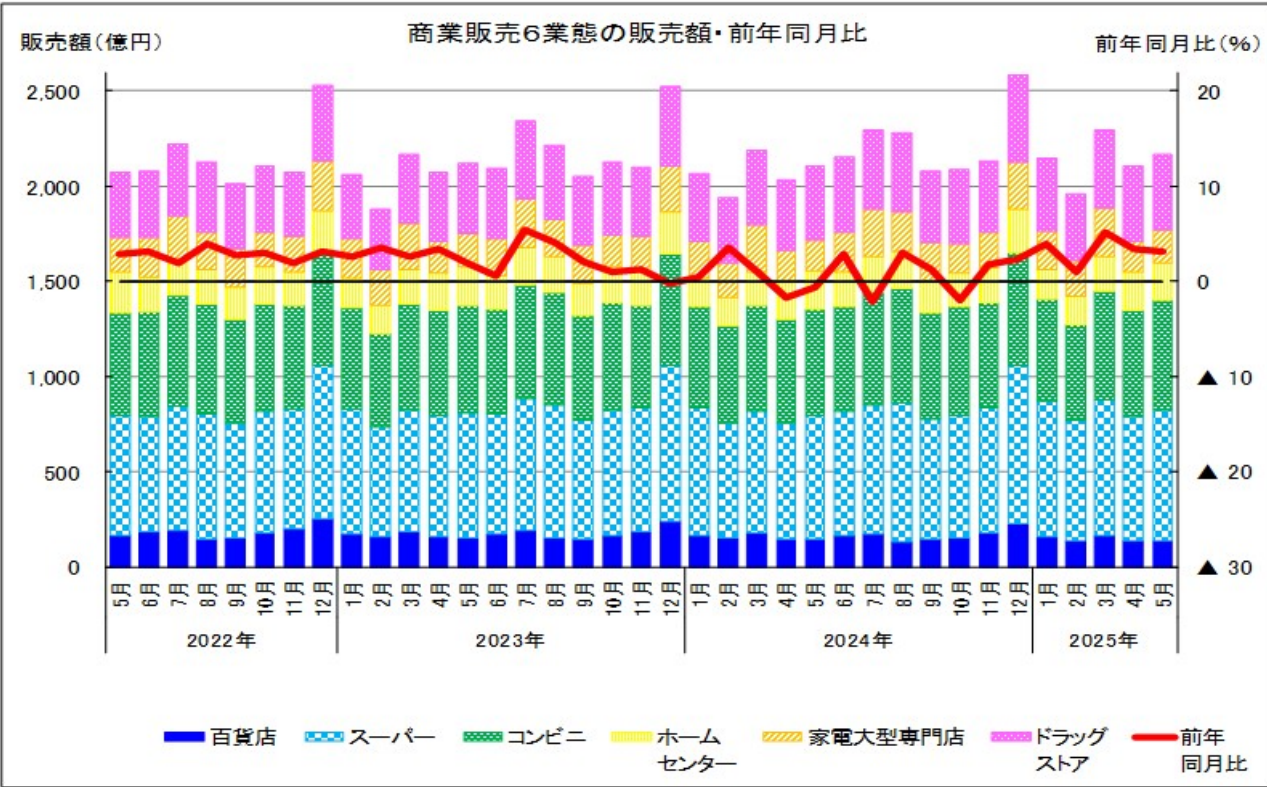
2025年5月の鉱工業生産指数は 105.4、前月比 5.4%の上昇となった(2020年＝100、季節調整済)。出荷は上昇、在庫は低下、在庫率は低下となった。

2. 個人消費 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

5月の商業6業態の販売額は2,170億円で、前年同月比3.1%と7か月連続で前年を上回った。
5月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車が前年同月を下回ったものの、小型乗用車、軽乗用車が前年同月を上回り、合計では前年同月比7.3%と5か月連続で前年を上回った。また、5月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比3.5%の上昇となった。

(1)商業6業態(5月)

		(百万円)	(全店舗、%)	
(6業態に おける構成比)		販売額	前年同月比	(前月の 前年同月比)
6業態		216,951	3.1 7か月連続 プラス	(3.4)
百貨店・スーパー		82,448	3.7 7か月連続 プラス	(4.5)
百貨店	(6.5%)	14,071	▲ 5.3 21か月連続 マイナス	(▲ 5.4)
スーパー	(31.5%)	68,377	5.7 7か月連続 プラス	(6.8)
コンビニエンスストア		57,479	2.3 3か月連続 プラス	(2.1)
ホームセンター		19,822	▲ 0.1 3か月ぶり マイナス	(0.7)
家電大型専門店		17,348	6.8 7か月連続 プラス	(2.6)
ドラッグストア		39,854	3.4 41か月連続 プラス	(4.6)



- ・百貨店の販売額は141億円で、前年同月比▲5.3%と21か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は684億円で、前年同月比5.7%と7か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は575億円で、前年同月比2.3%と3か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターの販売額は198億円で、前年同月比▲0.1%と3か月ぶりに前年を下回った。
- ・家電大型専門店の販売額は173億円で、前年同月比6.8%と7か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアの販売額は399億円で、前年同月比3.4%と41か月連続で前年を上回った。

(単位: 百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
2022年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
2023年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
2024年	197,780	▲ 6.4	12	800,298	0.9	330	670,147	0.6	3,056
2024年5月	14,865	▲ 5.2	12	64,678	▲ 1.5	329	56,212	▲ 0.3	3,045
6月	16,684	▲ 4.8	12	65,326	3.8	330	54,873	▲ 0.3	3,044
7月	17,397	▲ 11.3	12	67,755	▲ 2.1	330	59,046	▲ 0.2	3,051
8月	13,685	▲ 10.7	12	72,539	4.3	330	60,278	1.0	3,053
9月	14,473	▲ 3.5	12	63,122	1.2	330	55,695	1.2	3,054
10月	15,470	▲ 8.1	12	64,509	▲ 2.1	329	56,940	1.0	3,056
11月	17,839	▲ 5.7	12	66,307	2.5	329	54,598	1.7	3,056
12月	22,727	▲ 5.2	12	83,319	1.5	330	59,325	2.1	3,056
2025年1月	16,022	▲ 5.1	12	70,946	5.9	336	53,899	2.1	3,052
2月	14,048	▲ 8.9	12	63,348	5.4	336	50,265	▲ 1.3	3,060
3月	16,953	▲ 4.8	12	70,783	10.3	336	56,906	2.9	3,054
r 4月	13,748	▲ 5.4	12	65,686	6.8	336	55,238	2.1	3,048
p 5月	14,071	▲ 5.3	12	68,377	5.7	336	57,479	2.3	3,044

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
2022年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
2023年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
2024年	218,856	▲ 0.3	402	239,785	▲ 0.9	176	468,122	5.8	1,045	2,594,988	0.8
2024年5月	19,849	0.2	403	16,241	▲ 7.6	176	38,552	5.2	1,030	210,397	▲ 0.6
6月	18,196	2.2	403	21,021	10.6	176	39,118	6.0	1,029	215,218	2.9
7月	18,999	▲ 3.6	403	24,469	▲ 4.9	176	41,691	2.3	1,032	229,357	▲ 2.1
8月	19,270	5.4	403	20,735	5.7	176	41,715	6.8	1,036	228,222	3.0
9月	16,828	1.5	403	19,968	0.3	176	37,822	3.7	1,038	207,907	1.2
10月	17,272	▲ 8.0	400	15,664	▲ 5.3	174	38,800	1.5	1,038	208,656	▲ 1.9
11月	18,061	0.9	401	19,028	1.9	176	37,818	4.6	1,043	213,651	1.7
12月	22,387	0.2	402	24,695	0.8	176	45,938	10.6	1,045	258,390	2.3
2025年1月	15,411	2.1	401	20,055	3.6	176	38,632	8.1	1,047	214,965	3.9
2月	14,674	▲ 2.0	400	18,690	4.4	176	34,952	0.6	1,051	195,978	1.0
3月	18,150	1.0	402	25,601	4.1	176	41,413	6.7	1,059	229,806	5.1
r 4月	20,096	0.7	404	16,525	2.6	176	39,125	4.6	1,057	210,418	3.4
p 5月	19,822	▲ 0.1	404	17,348	6.8	176	39,854	3.4	1,062	216,951	3.1

注1: p は速報値、rは確報値。ただし、2024年分は年間補正値。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

参考：広島市の気温

★★2025年5月の動き（各店舗の声から）★★

対平年+ 0.0 °C 対前年+ 0.0 °C

【百貨店】

雨の日が多く、気温が上がりきらなかったことで、靴や夏物の衣料品が低調だったほか、日傘などのUV対策グッズが振るわなかった。また、母の日は菓子や外食など食の需要が高まり、エプロンや食器などの家庭用品は低調だった。

【スーパー】

価格上昇により米の売上が増加したほか、米の代替でパンや麺が好調だった。また、大型連休は刺身や揚げ物、オードブルなどのパーティーメニューが好調だった。一方、野菜価格が落ち着き、サラダ関連野菜の売上が減少した。

【コンビニエンスストア】

価格上昇や販売促進効果でおにぎりや揚げ物、菓子の売上が増加したほか、チケット販売が好調だった。一方、気温が上がりきらずアイスが低調だった。

【ホームセンター】

雨の日が多く園芸用品が低調だったほか、気温が上がりきらなかったことで夏物の寝具や殺虫剤が低調だった。また、需要が落ち着いたアウトドア用品が振るわなかった。一方、価格上昇や販売促進効果で紙製品や洗剤の売上が増加した。

【家電大型専門店】

販売促進効果によりエアコン、携帯電話、テレビが好調だったほか、買い換え需要でパソコンにより動きがみられた。

【ドラッグストア】

引き続き価格上昇により米の売上が増加したほか、調剤薬局を併設した店舗の増加により調剤医薬品が好調だった。また、新商品効果でヘアケア商品が好調だった。一方、気温が上がりきらなかったことで、殺虫剤、UVケア商品、飲料が伸び悩んだ。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 5.9	15.5	▲ 8.7	1.2	▲ 1.2	18.8	23.0	14.6	11.5	7.3
	普通乗用車							7.2	2.8	2.6	▲ 1.5
	小型乗用車							49.7	35.9	17.3	19.3
	軽乗用車							29.3	19.4	18.3	10.1
	全国	▲ 6.2	15.8	▲ 6.7	1.2	▲ 3.2	14.0	18.9	9.5	11.0	3.1

(中国運輸局資料をもとに当局作成)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
消費者物価指数	中国	2.4	3.1	2.4	2.6	2.6	3.3	3.1	3.5	3.7	3.5
	全国	2.3	3.1	2.5	2.6	2.6	3.1	3.0	3.2	3.5	3.7

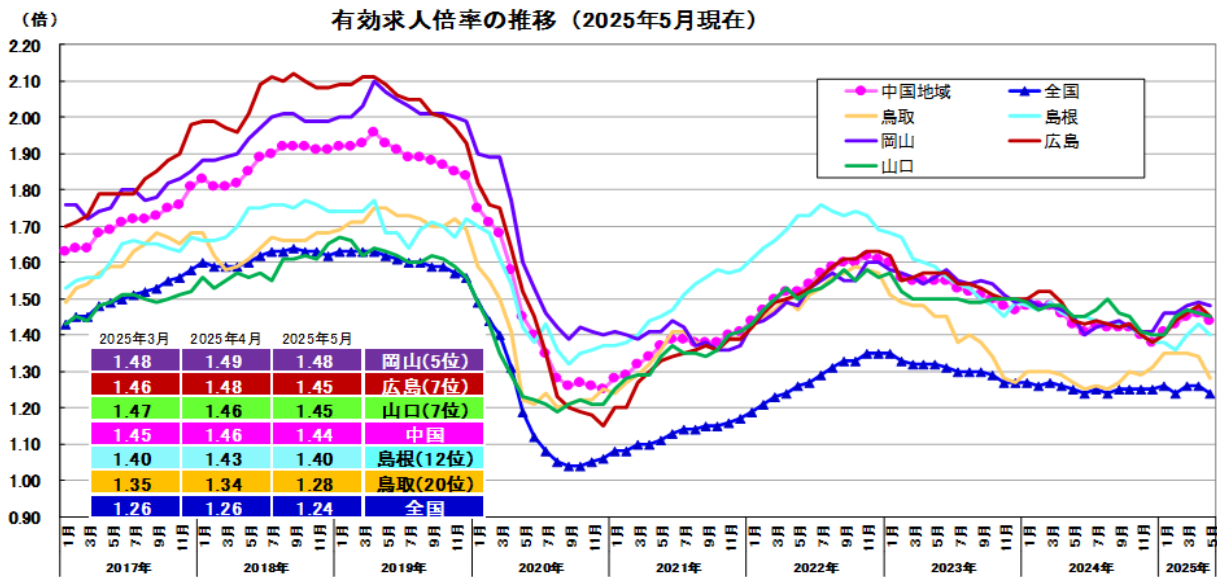
(資料 総務省 ※中国地域四半期は当局計算値)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前年同月比で減少～

5月の有効求人倍率は、1.44倍で前月の値を0.02ポイント下回った。また、新規求人数(原数値)は、前年同月比▲5.8%で2か月ぶりの減少となった。

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
有効求人倍率※1	中国	1.55	1.53	1.43	1.42	1.40	1.43	1.43	1.45	1.46	1.44
	全国	1.28	1.31	1.25	1.24	1.25	1.25	1.24	1.26	1.26	1.24
新規求人数	中国	63,735	62,265	58,634	57,141	58,431	59,851	59,074	57,064	59,006	54,465
		10.8	▲ 2.3	▲ 5.8	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 4.9	▲ 4.6	3.2	▲ 5.8
上段:人(原数値)	全国	866,369	866,937	836,071	814,174	837,457	851,359	840,398	806,519	839,759	786,018
下段:前年(同期・同月)比%		10.8	0.1	▲ 3.6	▲ 3.8	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 5.9	▲ 3.0	2.2	▲ 5.2
完全失業率※2	中国	2.2	2.1	2.2	2.1	2.0	2.5	—	—	—	—
	全国	2.6	2.6	2.5	2.6	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5

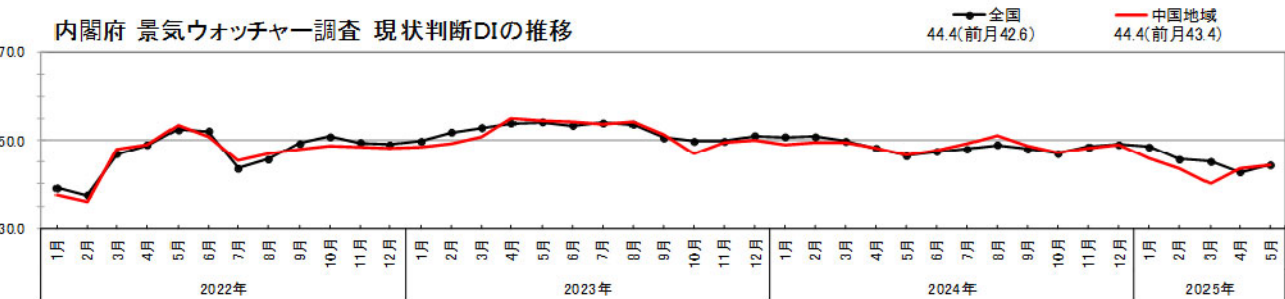
(資料:厚生労働省、総務省 ※有効求人倍率の中国地域年・四半期、新規求人数の中国地域、新規求人数全国前期比は当局計算値)



(資料:厚生労働省)

4. 景況感 ～現状、先行きともに前月に比べ上昇～

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和7年5月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI(方向性)は44.4となり、前月差1.0ポイントの上昇となった。
2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは43.9となり、同3.9ポイントの上昇となった。



(資料:内閣府)

※1 年は原数値。月、四半期は季節調整値。年、四半期は平均。

※2 年、四半期は原数値。月は季節調整値

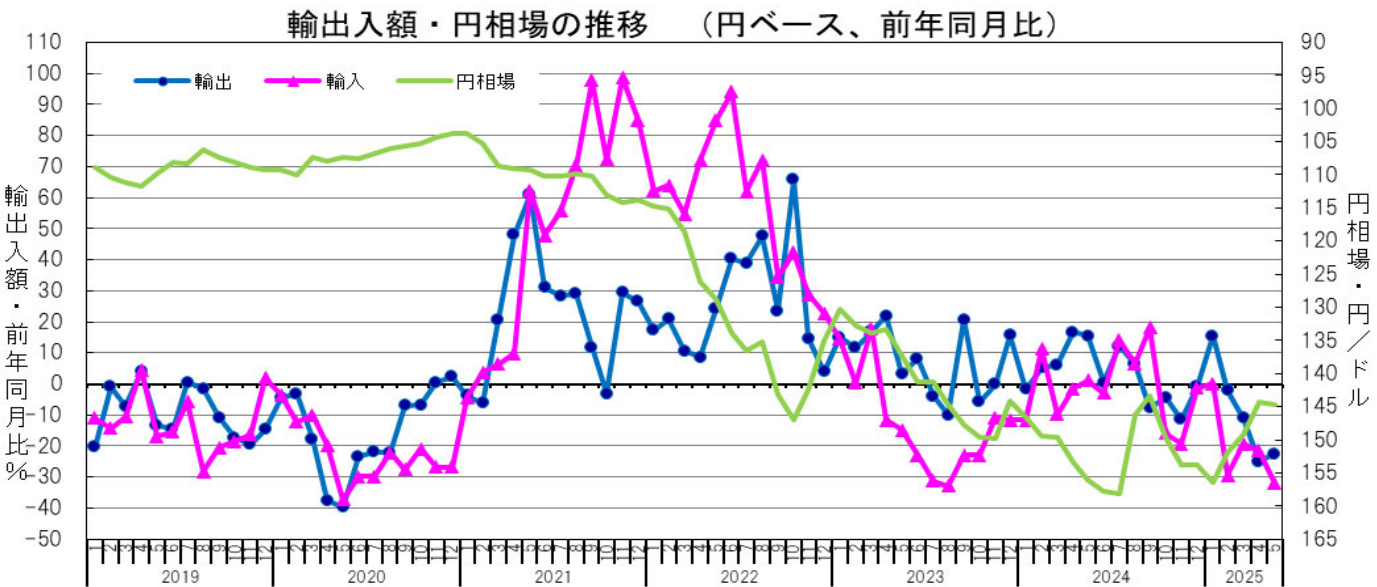
5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で減少～

5月の輸出は、前年同月比▲22.6%と4か月連続で前年を下回った。品目別では、自動車、鉄鋼などが前年を下回った。地域別では、アジア、北米向けなどが前年を下回った。
5月の輸入は、前年同月比▲32.0%と4か月連続で前年を下回った。品目別では、原油及び粗油、金属鉱及びくずなどが前年を下回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)※4

			2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
						7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
輸出	総合	中国地域	25.3	6.9	2.7	3.2	▲ 5.4	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 11.0	▲ 24.9	▲ 22.6
		全国	18.2	2.7	6.2	4.5	3.2	7.4	11.4	4.0	2.0	▲ 1.7
	自動車(中国地域)※3		18.9	34.2	▲ 3.2				8.7	▲ 13.3	▲ 42.6	▲ 31.1
	鉄鋼(中国地域)※3		36.3	▲ 12.9	▲ 5.0				▲ 12.6	▲ 18.7	▲ 3.5	▲ 24.6
輸入	総合	中国地域※3	55.1	▲ 14.0	▲ 1.8	12.9	▲ 12.1	▲ 16.2	▲ 29.5	▲ 19.3	▲ 21.6	▲ 32.0
		全国※3	39.6	▲ 6.8	2.0	6.8	▲ 0.5	5.9	▲ 0.7	1.9	▲ 2.1	▲ 7.7
	原粗油(中国地域)※3		79.0	▲ 23.4	▲ 20.9				▲ 35.4	▲ 42.7	▲ 40.7	▲ 74.1
	石炭(中国地域)※3		182.5	▲ 21.8	▲ 19.8				▲ 17.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 34.3
為替※5		円/ドル	131.38	140.48	151.48	149.22	152.36	152.54	151.96	149.18	144.39	144.75

(資料：財務省、日本銀行 ※四半期、中国地域の品目は当局計算値))



※3 月次は速報値。

※4 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。

※5 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少～

5月の中国地域の公共工事請負金額は、その他公共的団体で前年を上回ったものの、国、独立行政法人等、県、市町村で前年を下回った。合計では前年同月比▲26.6%と2か月連続で前年を下回った。

5月の新設住宅着工戸数は、給与住宅で前年を上回ったものの、持家、貸家、分譲住宅で前年を下回った。合計では前年同月比▲37.9%と3か月ぶりに前年を下回った。

(前年同月(期)比%)

		2022年度	2023年度	2024年度	2024年 7-9月	10-12月	2025年 1-3月	2025年 2月	3月	4月	5月
公共工事請負金額	中国	▲ 0.3	8.8	0.4	▲ 13.0	▲ 10.0	12.3	▲ 26.7	46.1	▲ 21.9	▲ 26.6
	全国	▲ 0.4	5.3	3.2	2.2	1.2	▲ 3.6	▲ 22.5	6.0	12.0	4.0
新設住宅着工戸数※6	中国	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 3.8	▲ 7.2	4.4	3.9	▲ 12.4	39.3	7.5	▲ 37.9
	全国	▲ 0.6	▲ 7.0	2.0	▲ 2.0	▲ 2.4	13.3	2.4	39.6	▲ 26.6	▲ 34.4

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))「新設住宅着工戸数」(国土交通省)
※公共工事請負金額・新設住宅着工戸数の四半期は当局計算値)

7. 企業倒産 ～件数、負債総額とも前年同月比で減少～

5月の企業倒産件数は34件で、前年同月比▲34.6%と2か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は39億4,900万円で、前年同月比▲32.3%と2か月ぶりに前年を下回った。

業種別にみると、建設業、サービス業他が8件、製造業、卸売業が5件、運輸業が4件、小売業が3件、不動産業が1件となった。

原因別にみると、販売不振が25件、既往のシワ寄せが5件、他社倒産余波が2件などとなった。

(前年同月(期)比%)

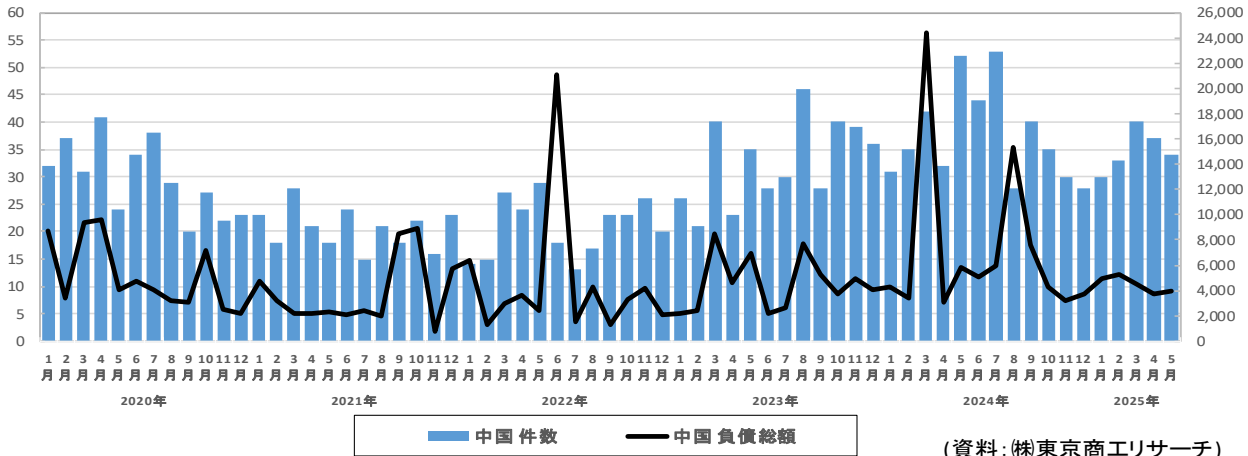
		2022年	2023年	2024年	2024年 7-9月	10-12月	2025年 1-3月	2025年 2月	3月	4月	5月
企業倒産件数	中国	0.8	57.4	14.8	16.3	▲ 19.1	▲ 4.6	▲ 5.7	▲ 4.8	15.6	▲ 34.6
	全国	6.6	35.2	15.1	10.9	7.6	6.0	7.3	▲ 5.8	5.7	▲ 15.1
負債総額	中国	20.6	1.2	56.6	85.3	▲ 11.6	▲ 54.0	58.2	▲ 81.7	21.8	▲ 32.3
	全国	102.6	3.1	▲ 2.5	5.5	20.0	8.4	22.7	▲ 30.7	▲ 9.4	▲ 33.9

(資料: (株)東京商工リサーチ)

倒産件数
(件)

中国地域倒産件数・負債総額推移

負債総額
(百万円)



(資料: (株)東京商工リサーチ)

※6 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 ～2025年度計画は前年度を上回る見込み～

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2025年6月)によると、2025年度の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業が前年度比24.4%、非製造業が同▲7.4%となり、全産業では同7.8%となっている。

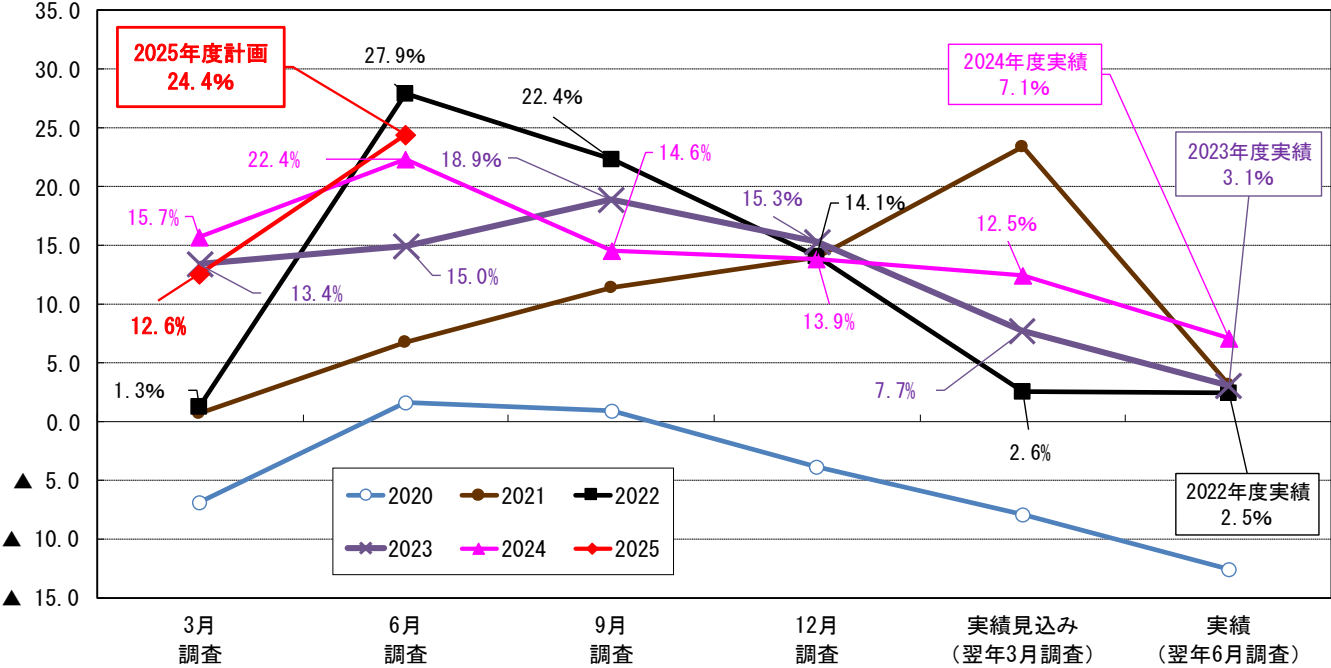
◆企業短期経済観測調査結果(2025年6月調査)

設備投資額(含む土地投資額) (前年度比・%)

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 計画
中国	全産業	9.3	5.9	16.3	7.8
	製造業	2.5	3.1	7.1	24.4
	非製造業	18.3	8.9	26.3	▲ 7.4
全国	全産業	9.2	10.6	7.5	6.7
	製造業	9.0	6.7	7.3	12.4
	非製造業	9.3	12.8	7.6	3.6

(資料: 日本銀行、同広島支店)

(前年度比・%) 日銀短観による設備投資計画 (中国地域：製造業)



(注) 横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したもの。